

令和6年度 鹿児島空港ターミナルビル環境対策実績及び環境データ報告について

1. 令和6年度環境対策実績

- ① 館内温度設定
(冷房) 館内：25℃、レストラン系統25℃
(暖房) 館内：22℃、レストラン系統22℃
- ② 館内照明及び電照広告のLED化
- ③ 館内一部窓ガラスへの高遮熱性フィルムの貼付
- ④ 高効率パッケージエアコンへの更新
- ⑤ 空調機インバーター制御による運用の実施
周波数を制御することによって、モータ回転数をコントロールする。
- ⑥ BEMSの活用
各系統の電力や燃料使用量等の把握・分析を行っている。
- ⑦ 太陽光発電
令和6年度の太陽光発電量は、約61千kWh（受電電力使用量の約0.71%相当）。
- ⑧ カーボンオフセットの実施
空港駐車場事業によって排出されたCO²（34t）を「かごしまエコファンド」を活用し、カーボンオフセットを実施。
- ⑨ ペーパーレス化の推進
PCの活用やタブレットの導入により、一部会議等での資料の紙配布を廃止。



館内照明のLED化



高遮熱性フィルムの貼付



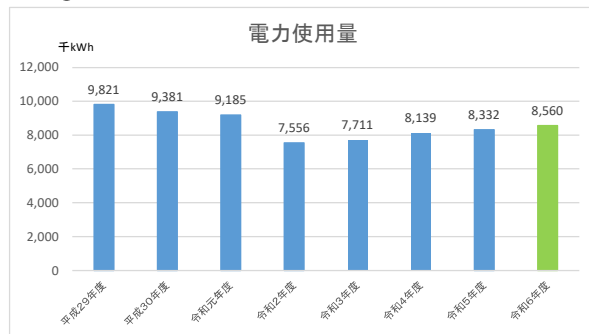
カーボンオフセットの実施



太陽光発電（国内線ターミナル屋上）

2. 鹿児島空港ターミナルビル環境データ

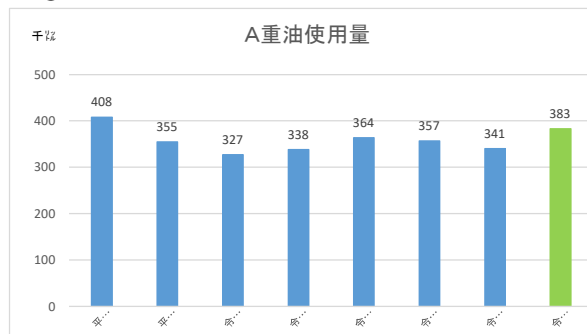
①電力使用量



【電力使用量について】

●国際線の定期便4路線が再開し、冬ダイヤにおいては韓国線がデイリー運航、かつ便数増加による1日の開館時間延長など、乗降客数が回復基調にあることから、電力使用量は前年度比103%となりました。

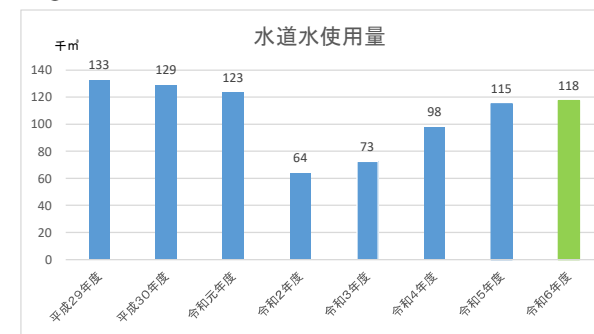
②A重油使用量



【A重油使用量について】

●A重油は、冷暖房の設備である吸収式冷温水発生機に使用されております。令和6年度は、前年より冬の平均気温が低く暖房使用率が高まったため、A重油使用量は前年度比112%となりました。

③水道水使用量



【水道水使用量について】

●国際線の定期便4路線が再開し、航空需要の回復により乗降客数が増加したことから、水道水使用量は前年度比102%となりました。

鹿児島空港ビルディング株式会社